

小規模企業景気動向調査

[平成28年7月期調査]

～全業種で業況が上向き4期ぶりに改善を示したが、回復までは至らない小規模企業景況～

2016年8月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年7月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全業種で業況が上向き4期ぶりに改善を示したが、回復までは至らない小規模企業景況…◇

7月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅改善となった。項目別においても、売上額及び採算並びに資金繰りDIとも小幅の改善となった。全業種が改善を示したのは、平成27年7月期調査以来1年ぶりとなったが、業況DIは-22.6ptと大幅悪化した平成26年4月の消費税率引き上げ時(-24.2pt)とほぼ同水準となっており、回復までは至っていない。経営指導員からは、設備投資などにより一部に活況感があるとする一方、個人所得が伸びず消費が活発とは言えず、高額商品を控える傾向がみられるとの報告があった。

<製造業> ◇…燃料費や材料費が下落し、小幅に改善となった製造業…◇

製造業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額DIは不変、採算DIは大幅な改善、資金繰りDIは小幅改善となった。経営指導員から、好転材料として、①機械部品で安定した受注状況となっている、②食料品関連で燃料費や材料費の価格下落により採算が好転している。また、悪化材料としては、①輸出関連で円高等により引き続きの悪化傾向、②繊維工業関連で、一般衣料の販売が低迷し、業界全体が縮小傾向にあるとの報告があった。

<建設業> ◇…人手不足があるものの需要の増加により、大幅改善となった建設業…◇

建設業の業況DIは、大幅な改善となった。項目別に見ると、採算DIはわずかに悪化したものの、売上額及び資金繰りDIは、ともに小幅な改善となった。経営指導員から、好転材料として、①リフォーム関連で需要増加に伴い好調を維持している、②塗装関連で注文増加により売上が増加している。また、悪化材料としては、①受注は増加しているが人件費及び材料費の高騰により採算が取れない案件が多い、②技術労働者が不足し、公共工事を受注できていない、③戸建て受注の価格帯が下落し、売上・利益が減少傾向にあるとの報告があった。

<小売業> ◇…季節家電が好調であり、食料品の価格が安定したことで、大幅な改善となった小売業…◇

小売業の業況DIは、大幅の改善となった。項目別においては、売上額及び採算並びに資金繰りDIとも小幅の改善となった。経営指導員から、好転材料として、①猛暑により空調関連の引き合いが好調、②生鮮品の価格が安定し、売上がやや上向き傾向となっている。また、悪化材料としては、①衣料品において前年より売上が減少している、②昨年実施した商品券事業分、消費の落ち込みが感じられるとの報告があった。

<サービス業> ◇…夏の観光需要をとりこみ、小幅な改善となったサービス業…◇

サービス業の業況DIは、小幅改善となった。項目別に見ると、売上額DIは若干の改善、採算DIは不変、資金繰りDIは小幅の改善となった。経営指導員から、好転材料として、①宿泊関連で外国人客が増加している、②運送関連で燃料費の低下により、前年より利益率が上がっている。また、悪化材料としては、①クリーニングや理美容で消費が悪化傾向にあり、人材不足が課題となっている、②飲食業で材料価格が上昇しているとの報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲ 23.2	▲ 20.6	2.6	▲ 15.5	▲ 15.5	0.0	▲ 19.6	▲ 14.9	4.7
採算	▲ 24.5	▲ 22.0	2.5	▲ 25.7	▲ 19.2	6.5	▲ 22.8	▲ 23.4	▲ 0.6
資金繰り	▲ 19.8	▲ 16.4	3.4	▲ 18.4	▲ 14.0	4.4	▲ 22.1	▲ 18.2	3.9
業況	▲ 27.3	▲ 22.6	4.7	▲ 22.1	▲ 19.3	2.8	▲ 26.7	▲ 21.6	5.1

業種	小売業			サービス業		
	6月	7月	前月比	6月	7月	前月比
売上額	▲ 33.7	▲ 30.0	3.7	▲ 23.8	▲ 22.2	1.6
採算	▲ 30.8	▲ 26.8	4.0	▲ 18.7	▲ 18.6	0.1
資金繰り	▲ 23.5	▲ 20.3	3.2	▲ 15.5	▲ 13.1	2.4
業況	▲ 35.6	▲ 27.9	7.7	▲ 24.6	▲ 21.6	3.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

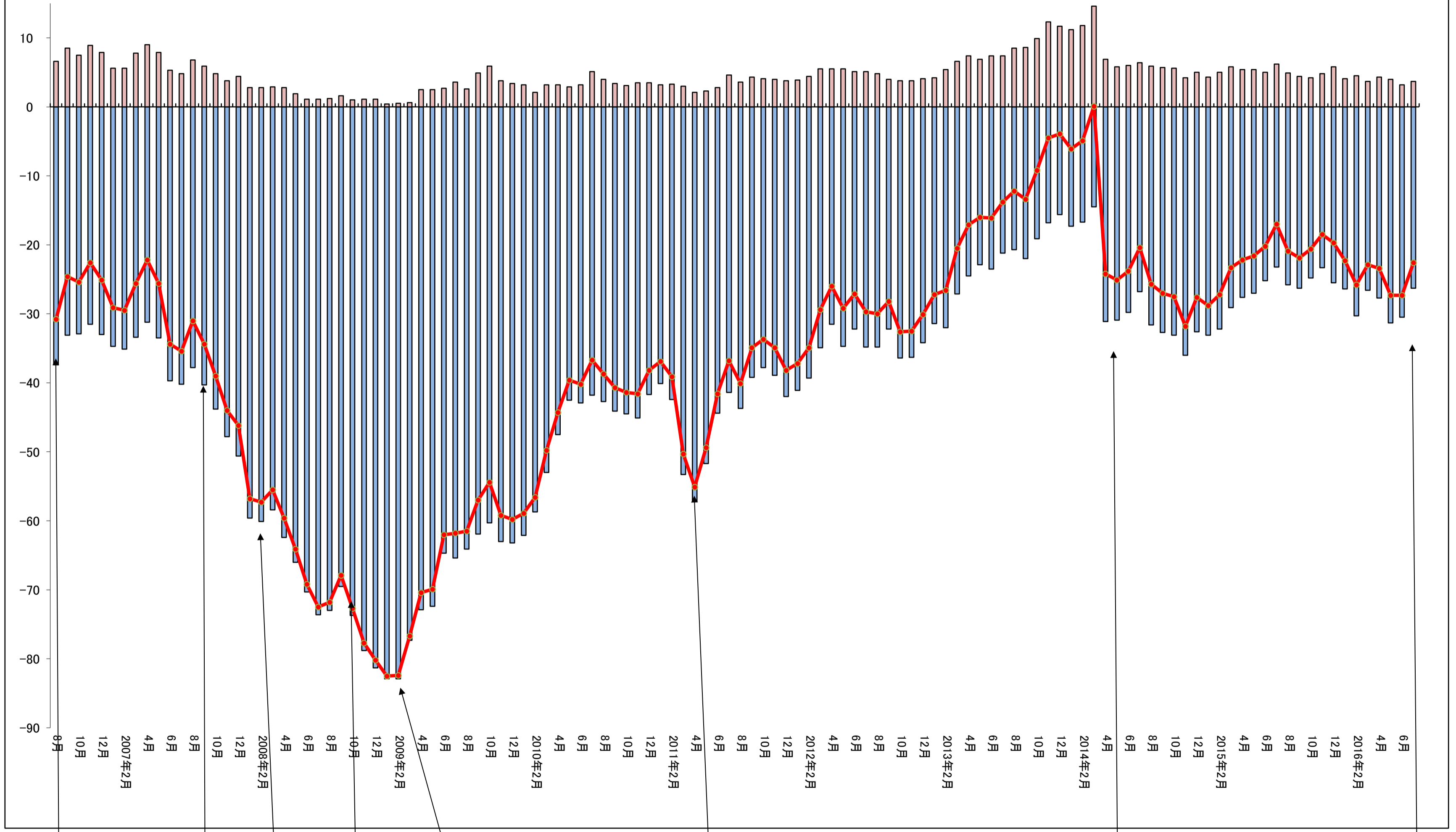
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:山元

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■ 悪化
■ 好転
● DI



06年7月14日
日銀ゼロ金利政策解除

07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に
引上げ

16年/7月
-22.6

小規模企業景気動向調査(7月期)における商工会経営指導員の主なコメント

*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

- ・中小企業の設備投資や進出企業の新店舗オープンなど一部に活況感があるが、限定的と思われる。
(静岡県菊川市商工会)
- ・農業、漁業関連の業況が良好。商工業関連も緩やかに活況の兆候が感じられている。金融貸出は柔軟な対応が見受けられる。
(青森県野辺地町商工会)
- ・宮島を訪れる観光客は昨年度より増加傾向にあり、島内の景気も比例し若干上昇傾向にある。
(広島県宮島町商工会)
- ・熊本地震で減少した観光客が回復してきている。特に九州ふっこう割などの効果が大きく、旅館・ホテルなどは満室となっている店舗も多い。金融機関の貸出態度は良好。
(大分県九重町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・個人所得が伸びないことから消費は活発とは言えない。高額商品の購入を控える傾向がある。金融機関融資は申し込む事業者が減少している。
(茨城県水戸市内原商工会)
- ・全業種とも停滞している。特に消費税増税をしてから資金繰りに苦慮している事業所が多くなっている。
(静岡県函南町商工会)
- ・一部建設業を除き依然として厳しい状況が続いている。末端の賃金が伸びておらず、また、最近の円高傾向による先行き不透明感から消費は依然としてディスカウント店などに流れている。
(長崎県三重商工会)
- ・昨年は一部の食料品小売業、理美容業に商品券事業の効果が見られたが、今年度は商品券事業はなく、昨年同時期と比して売上の減少は年末まで続くものと思われる。
(高知県中土佐町商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

- ・機械部品の製造業では、引き続き安定した受注状況になっており、受注体制強化のための雇用が若干ではあるが増加している。
(鳥取県米子日吉津商工会)
- ・自動車関連は比較的に好調であるが、為替変動には対応面で課題もでてきている。
(長野県佐久市望月商工会)
- ・食料品関連では、売上は前年同月と比較してほぼ同じであるが、燃料や輸入材料の価格が前年同月に比べ下がっていることから、採算はやや好転した。
(岡山県作州津山商工会)
- ・売上は横ばいであるが原材料や燃料価格が抑えられている分まずまずの状況である。
(島根県まつえ北商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

- ・輸出関連産業は、円高や海外の生産体制縮小により引き続き悪化傾向。
(滋賀県瀬田商工会)
- ・繊維工業関連の製造業は、高級ブランド衣料の販売は好調のようであるが、一般衣料の販売は低迷し、廃業する事業所が増加しており、業界全体が縮小傾向にある。
(鳥取県中部商工会産業支援センター)
- ・受注状況は順調であっても作業員等の確保が厳しさを増している。各社管内の職業安定所等に求人募集を行っているが、希望してくる人は僅かなようである。業種にもよるが、支払い条件が厳しいところもあり、下請け企業の中には資金手当が厳しいところも見受けられる。
(石川県志賀町商工会)
- ・小規模事業者の宿泊関連において客足が戻らないため、食品製造業で直接取引のある業者は、未だに売上が戻っていない。
(鹿児島県霧島市商工会)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

- ・大型工事は無いが、建設関連の業種が顕著な動きを見せている。
(青森県野辺地町商工会)
- ・リフォーム関連の建設業は、需要増加の為、好調を維持している。
(岡山県瀬戸内市商工会)
- ・塗装関連の建設業は、個人宅からの注文が増加しており、仕事量・売上共に増加している。
(岐阜県安八町商工会)

・建設業は一昨年の増税の反動で減少した分、今年は昨年比で上昇している事業所が多い。増加傾向にある事業所が多い。

(香川県高松市中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・官庁、民間共に工事発注は増加しているが、人件費及び材料費の高騰により採算があわない事例を多く聞く
(京都府向日市商工会)

・住宅新築受注はやや増加傾向にあるものの、原材料高騰の影響により、採算・資金繰り等やや悪化の傾向がみられる。

(鹿児島県かごしま市商工会)

・土木工事関連の建設業は公共工事の発注が増加傾向にあるが、技術労働者の人材難のため、受注ができない状況も見られる。

(青森県大畑町商工会)

・一戸建では、過去2000万以上が相場であったが、このところ1500万代での注文ができており、価格帯が下落しているため、売上利益ともに減少傾向である。

(東京都小平商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・家電小売については、今年度猛暑であることから、空調関連の引き合いがあり好調である。

(長崎県対馬市商工会)

・生鮮品の価格も安定し売り上げ的にはやや上向き傾向といえる。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・家電小売業は、エアコンや冷蔵庫等で猛暑の影響から、修理依頼からの買い替えが増加して売上げが増加した。

(岡山県備前東商工会)

・一部の高級婦人服関連の小売業は、遠方から一点ものを買いにこられる客が増えたため、売上が伸びている。

(鹿児島県日置市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・景気の回復感は乏しく、食料品小売業は前年並みで、衣料品小売業は前年より売上が若干減少している。

(新潟県妙高高原商工会)

・昨年のプレミアム商品券事業があった分、若干ではあるが消費の落ち込みが感じられる。

(北海道枝幸町商工会)

・衣料品は天候不順気味のため動きが鈍く採算が悪化、在庫も増加している。また、食料品も仕入価格の上昇と消費動向の鈍化により、採算は悪化傾向。

(富山県射水市商工会)

・食品関連の小売業は、観光客の減少のため、売上高減少になっている店舗も出てきている。

(岡山県瀬戸内市商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・宿泊関係については外国人客が増えている。一方で既存の旅館等の利用によりゲストハウスの需要が伸びている。

(岐阜県古川町商工会)

・ペットサロン関連のサービス業は、ペットに対する支出が増えていることもあり、売上が増加傾向にある。

(岐阜県安八町商工会)

・運送、タクシー業界にあっては燃料費が低く推移しており、前年同期と比較し利益率は上がっている。

(宮城県みやぎ仙台商工会)

・理美容業関連のサービス業に関して、店舗間に差があり繁盛店は前年を上回る売上をあげている。

(石川県中能登町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・夏休みの時期となり観光客の動きは活性化してきて、桃狩りやワイナリー巡りなどのイベントが賑わう一方、首都圏から見て当地域が日帰り圏と認識されているため、滞在型施設の収益は伸び悩んでいる。外国人旅行者の入れ込みも前年を下回っている。

(山梨県笛吹市商工会)

・飲食業は、猛暑や豪雨などの影響で材料の価格が上昇し、厳しい状態が続いている。また、運送業は、お中元商戦で盛況だが、運転手不足で対応が厳しくなっている。

(香川県さぬき市商工会)

・理容サービス業では、来店サイクルの長期化、既存顧客の減少により売上の減少が目立つ。

(岐阜県笠原町商工会)

・熊本地震影響のため、小規模宿泊施設は、未だに、売り上げが戻っていない。工事関係者の宿泊も減少し、先が見えない状態にある。

(鹿児島県霧島市商工会)

小規模企業景気動向調査【付帯調査】

『地域小規模企業における設備投資の動向について』

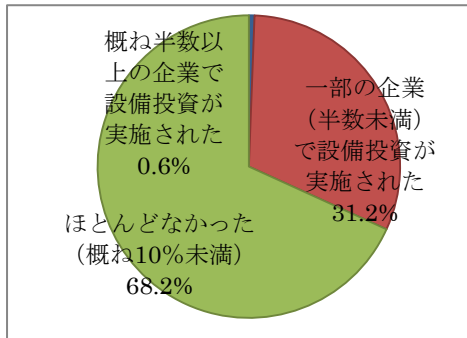
2016年8月26日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員
調査時点：2016年7月末
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

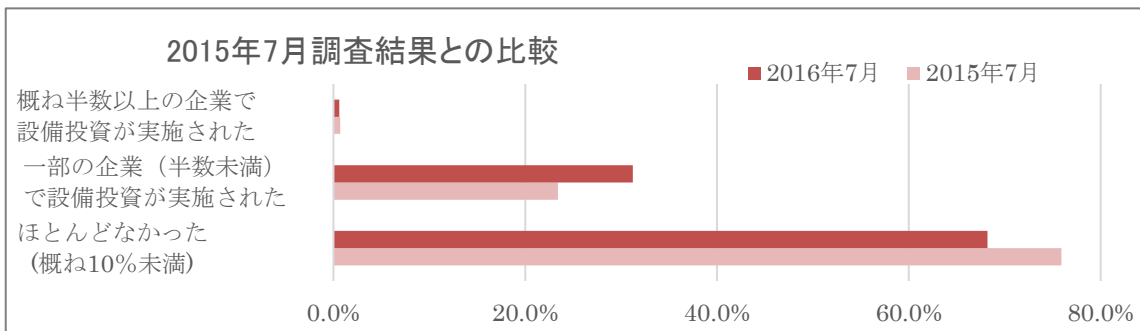
<調査結果>

1. 設備投資の実施状況について

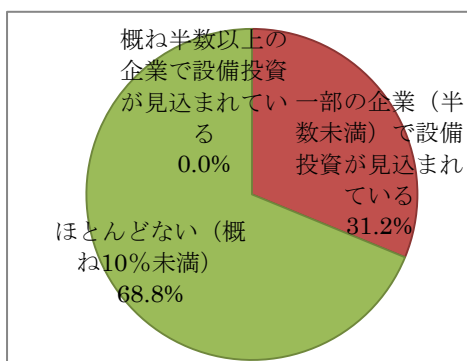


地区内の小規模企業において、ここ1年以内に設備投資の動きがあったかを聞いたところ、「ほとんどなかった（概ね10%未満）」が最も多く68.2%であった。次いで、「一部の企業（半数未満）で設備投資が実施された」が31.2%となっており、「概ね半数以上の企業で設備投資が実施された」は、全体の0.6%であった。

昨年（2015年7月）の結果と比較して、「ほとんどなかった」は7.7%減少、「一部の企業実施」が7.8%増加「概ね半数以上実施」が0.1%減少となった。

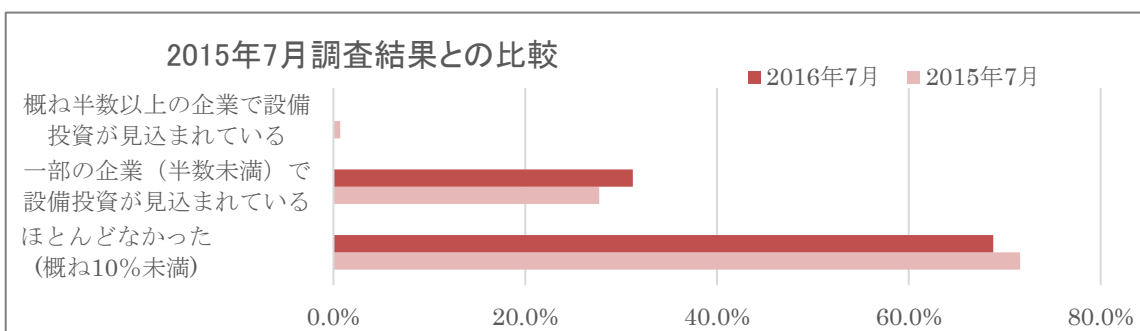


2. 設備投資の予定について



地区内の小規模企業において、今後（1年程度）、設備投資の予定があるかを聞いたところ、「ほとんどない（概ね10%未満）」が最も多く68.8%であった。次いで、「一部の企業（半数未満）で設備投資が見込まれている」が31.2%となっており、「概ね半数以上の企業で設備投資が見込まれている」との回答は無かった。

昨年（2015年7月）の結果と比較して、「ほとんどない（概ね10%未満）」は2.8%減少し、「一部の企業で見込まれる」が21%増加となった。



3. 設備投資に関する小規模企業の状況について(主なコメント)

・設備投資の実施及び見込みが「ある」とされた主なコメント

- 概ね10%未満の設備投資状況ではありますが、製造業及び小売業では補助事業活用で設備投資がありました。建設業においては、老朽化による設備更新がほとんどでした。(北海道木古内商工会)
- 新たな設備投資というより既存設備の買い替え等の設備投資に留まっている。(佐賀県大町町商工会)
- 主に建設業やサービス業において設備の老朽化に伴った投資が実施され、または今後予定の事業所がある。以前に比べて設備投資に関しては前向きな事業所がみられるようになったが製品増産や効率化を目的としたものは未だ少ない。(新潟県黒埼商工会)
- 持続化補助金等の補助金を活用し設備投資を行う事業者が多い。少額の100万円以下の投資が多い。業種では飲食、サービス業が多い。(鹿児島県屋久島町商工会)
- 製造業の設備投資は資金的な余裕があまりないことから金額は大きくないが少額の設備投資は比較的多い。飲食業においても、設備投資の金額は50万~100万と少額が多いが実行されている。持続化補助金の効果が多い。(山形県上山市商工会)
- まちづくりの進捗により、被災事業所の再建がようやく進み始めたので、今年の末位から中心市街地へ戻る事業者(小売り、サービス業)の設備投資が行われる。(岩手県大槌商工会)
- 設備投資といっても、老朽化による買い替えが大多数を占めており、新規の設備投資はほぼない状況となっている。(秋田県潟上市商工会)
- 地区内全般の状況であるが、設備投資は控えている事業所が多いように感じられる。しかし、一部では積極的に設備投資を実施して採算に結び付けているところもある。(兵庫県太子町商工会)

・設備投資の実施及び見込みが「ない」とされた主なコメント

- 全般的に、先行きの不透明感から積極的に設備投資をする企業は少ないように思われる。(奈良県平群町商工会)
- ほとんどの業種において、設備投資は難しい状況にある。景況感はいくもない。(長崎県新上五島町商工会)
- 多くの事業所にて設備の老朽化が進んでおり、更新などの設備投資の動きがあるものの、経営状況を勘案して大きな設備投資は控える傾向がみられる。(鳥取県米子日吉津商工会)
- 製造業で、特に45歳までの経営者の方の傾向で、設備投資をしたいが、堅実傾向が強く、設備投資をする方が少ない。(奈良県田原本町商工会)
- 後継者のいる事業所は店舗等設備投資が見られたが、いないところは、余計なコストをかけないで守りに入っている。(茨城県高萩市商工会)
- 自己資金での多額の投資は敬遠している状況。補助金や借入金の利用に左右されるところが多い。(長崎県対馬市商工会)
- 持続化補助金を活用して若干の設備投資はみられるが、先行きの不安等もあり投資に至らず。(静岡県菊川市商工会)
- 後継者がいない、景気が上向く見込みが立たない、返済していく体力が厳しい、などの理由で設備投資には慎重な傾向が続いている。今の設備がダメになったら廃業すると言っている所も多い。多少、設備投資に意欲が出てきているところもあるが、まだ割合的には少数である。(富山県南砺市商工会)